



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三八〇号〕

寒露 かんろ

十月八日

## 伊勢神宮と正倉院が紡ぐもの しやうそういん

「生きる正倉院く伊勢神宮と正倉院が紡ぐもの」と題した特別展が、神宮徴古館、神宮美術館、せんぐう館の3会場で始つていきます。伊勢神宮の神宝の撤下品と、奈良の正倉院宝物の再現模造品が一堂に展示されるといふ日本初の試みで、見応えのある特別展になっています。

正倉院宝物の再現模造品は、奈良時代の聖武天皇の遺愛品を納めた正倉院宝物の品々を千年の時を超えて現代の匠たちによって作られたものです。そして、伊勢神宮の神宝は、神宮式年遷宮によって二十年ごとに新しく調製されてきたものです。そこにはどんな関わりがあるのでしょうか。

神宮徴古館別館の一室へ入ると、昭和四年の式年遷宮「遷御」の祭列を描いた絵巻がありました。今回の神宝は、遷宮史上最高といわれる昭和四年の神宝が展示されているからです。まず、神宝の中でも内宮に唯一調進される「玉纏御太刀」が目を引きます。「玉纏」の名の通り、色とりどりの玉をちりばめた長大な刀は、壮麗で神さまへの供えものとしてこれほどの宝物はないと思わせるほどです。今からおよそ百年前の調製とは思えないほど、遜色がなくすばらしいものでした。その隣には、聖武天皇の所用品と伝わる「金銀鈿莊唐大刀」。玉をあしらうなど装飾性が高い点は「玉纏御太刀」とよく似ていますが、こちらは中国から運ばれ伝わったものと考えられています。もう一方には、奈良の藤ノ木古墳から出土した「飾り大刀」の復元品が。六世紀後半の古墳から出土した倭様の大刀は、玉纏御太刀の原型と考えられています。大陸からの文化が入ってきた時代、古代の刀剣の形が変容していく様がよくわかります。その中で古墳出土の「飾り大刀」や正倉院宝物の唐大刀と、神宮神宝の「玉纏御太刀」が並んで展示されていることで、神宮神宝の刀の形が誕生したことに思いを馳せた次第です。見どころはまだまだあります。十一月九日まで。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『恵みの市』

10月15日より執り行なわれる神宮の神嘗祭は、その年の新穀をまず神々に捧げる伊勢神宮最大のお祭りであり、祈年祭にはじまる稲作に関する神宮のお祭りは、この神嘗祭でクライマックスを迎えます。

おかげ横丁もこれに合わせ、年に一度、おかげ（神恩感謝）の心（気持ち）を神様にお届けするため、日本全国から取り寄せた神宮奉納物を神に捧げると共に、収穫を喜び神様に感謝する催事を開催いたします。

日時／10月8日(土)～10月17日(月) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁一帯

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。

### ●伊勢神宮への奉納行列

明治期まで、神宮では少女が神様へ奉仕していました。これにちなみ、五穀(米・麦・粟・黍・豆)を携えた少女を先頭に、神宮への奉納物を担いおかげ横丁と関わりのある生産者の方々一行が内宮宇治橋前を出発し、神楽殿へ向かいます。奉納後は、今年の実りを感謝し、お神楽をあげます。

日時／10月8日(土) 10:00～

場所／太鼓櫓～伊勢神宮内宮宇治橋前～神楽殿

### ●御食国の産物市

伊勢志摩を中心とする生産者のこだわりの産物を集めた市が立ちます。

日時／10月8日(土)～10日(日・祝)、15日(土)、16日(日) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁「特設屋台」

### ●なるほど神嘗祭

その年の新穀を神々に捧げる神宮最大のお祭り「神嘗祭」を、パネルを使った展示で分かりやすく解説します。今ではめずらしい昔ながらの脱穀用農具の展示もあります。

場所／おかげ横丁「特設会場」

お問合せ／おかげ横丁総合案内 TEL0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○『伊勢神宮とSDGs「里編」』

2030年までに達成する目標として、国連で採択された17の目標が「SDGs」です。伊勢神宮には1300年にわたり継承してきた神宮式年遷宮があります。遷宮を持続すること、また日々の祭典を持続することを伊勢神宮ではもっとも大切にしてきたことです。今回の「里編」では、神宮神田・神宮御園・萱山・織物・土器などの調製についてお話しします。

日時／10月8日(土) 19:30～20:30

講師／千種 清美 (文筆家・皇學館大学非常勤講師)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

場所／五十鈴塾右王舎

【オンライン講座日程】

とき／10月8日(土) 19:30～20:30

参加費／全員 1,000円

配信／ZOOM配信 (ストアカ)

※オンラインの配信講座は同時中継いたします。オンライン講座希望の方は直接ストアカにお申し込みください。視聴についてのお問い合わせは五十鈴塾まで。

## 五十鈴茶屋

### ○『節気菓子』

てり  
照葉

木々の葉が黄色から朱色に変わり行く情景が伊勢路の山々でも見られるようになりました。粒餡を中に包んだ練り切りの紅葉をお楽しみ下さい。

なごりつき  
名残月

神域の夜空にぼっかり浮かんだ満月を、伊勢の人々は昔から愛でてきました。山芋と葛を合わせた生地で粒餡を包み、すすきの焼き印を押して名残月を表しました。

こすもす  
秋桜

白、薄紅、さんご色、コスモスが色とりどりに咲く伊勢志摩の秋。浮島の生地に葛寒天と羊羹を重ね、風の渡りに波打つコスモスの群れに似せました。